

異文化理解 特別授業 (5/24)

3年7組国際教養科の異文化理解の授業で、本校の先生による特別授業を行いました。講師は今年赴任された英語科の米澤光晴先生で、「私の異文化体験」というテーマで講義を行っていただきました。内容は、先生が2015年に参加された、「外務省若手教員米国派遣交流事業」についてのお話で、訪問したユタ州、ソルトレークシティの小学校での研修の様子や、周りの自然や人々の生活についてのお話を中心に、クイズも交えながら、大変楽しい講義となりました。生徒からは、「先生向けの海外研修があることに驚いた」とか、「アメリカの学校の様子がよく分かった」、「アメリカに是非留学したい」といった感想が寄せられました。

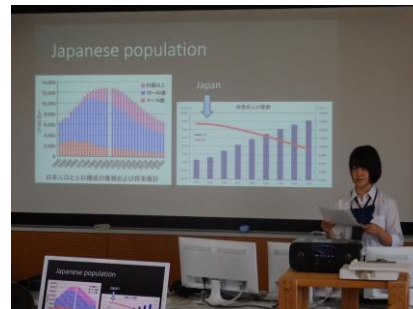
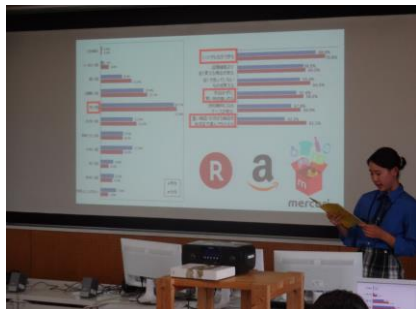
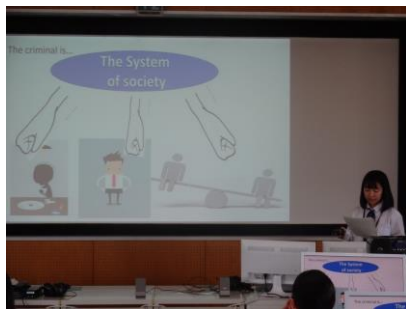


LL 教室で授業を行う米澤先生

獨協大学 英語プレゼンコンテスト 応募

2年6組国際教養科のActive Englishの授業では、5月から6月にかけて、毎年恒例となっている、獨協大学主催の「高校生英語プレゼンテーションコンテスト」の取り組みを行いました。これは、与えられた3つのテーマから一つを選び、それに関連づけた内容で文章とパワーポイントを作成し、プレゼンテーションを行うというものです。今年のテーマは①Wake Up! ②Citizen of the Planet ③World in Distress の3つで、これらのテーマから何を連想し、どう具体的な問題や主張に結びつけるかが大事なポイントとなります。平和問題、貧困問題、健康問題、人権問題など世界や日本で話題となっている問題が多く登場し、データに基づく分析や解決策の提案など、各自熱心にリサーチしたあとがうかがえ、大変立派な発表ができました。授業内で全員が発表し、6月末に、全員、音声入りCDとパワポスライドのプリントを大学に送りました。作品は審査され、優秀者は10月8日に行われる全国大会に出場します。結果が楽しみです。

【獨協大学プレゼンコンテスト発表風景】



国際教養科3年生 弁論大会全国優勝

国際教養科3年7組の飯田芽生愛さんが、5月3日に行われた「第72回椎尾弁匡（しいおべんきょう）記念杯全国高等学校弁論大会」に出場し、見事優勝しました。この大会は、東海高校のOBで在学中、弁論部に所属していた海部俊樹元首相が、憲法記念日の5月3日に第1回大会を開催し、弁論部に所属する生徒が登壇を目標とする大会と言われています。全国から100人近くが応募し、原稿審査を通過した13人が出場しました。飯田さんは最高位の内閣総理大臣賞と文部科学大臣賞を受賞し、優勝旗と優勝杯を本校に持ち帰りました。長野県の高校生がこの大会で優勝するのは初めてとのこと。おめでとうございます。



県教育長表敬訪問（6月20日）